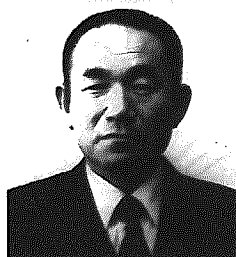


健全財政を確立して
町民のニーズに対応



町長 青木 太一郎

わが国経済は、昨年の円高進展や、内外金融市場の不安定な動きにもかかわらず、内需中心の物価安定基調を維持して、景気は引き続き堅調さを保って推移しており、政府は昭和六十三年度国家予算の編成にあたって、内需主導型予算として、一般公共事業においては、前年度当初予算に比して二〇%増という、極めて高い水準となったものの、反面、依然として多額の国債利払い等がかかる財政構造は変わらず、引き続き厳しい財政状況のため、歳出面では経常経費の徹底した抑制、節減、合理化が図られる等、本年度も昭和六十年以降引き続いて国庫補助負担の引き下げ措置がとられる等、地方財政運営においては、極めて厳しい財政環境といわざるを得ません。このような厳しい地方財政の現

状を認識しながらも、本町の行財政運営に当たっては、健全財政の確立こそ肝要として発展著しい本町、町民の行政ニーズに的確に対応するため、時代の進展に対処しながら、来たるべき二十一世紀における県都新潟市の表玄関にふさわしい「活力に満ちた町づくり」のため、第三次総合計画を基本とした「人と緑と産業の調和した豊かな文化あふれる黒埼町」建設に向かって精一杯努力いたす所存であります。

以上の所信を基調といたしまして、新年度予算編成にあたりましては、予算の効率配分に留意しながら、町政推進の重点項目として、

一、生活環境の整備充実

二、農商工業のバランスのとれた振興と産業基盤の確立

三、教育並びに文化、スポーツ施設の整備と青少年の健全育成

四、住民福祉の増進と健康づくりの四点を基本政策として、町政を推進いたす所存であります。

三月定例会施政方針演説から

長寿祝金制度を
創設

民生費 2億6539万3千円

(+578万2千円)

長寿をお祝いするための長寿祝金制度を創設します。一人暮らしのお年寄りなどの世帯に、緊急通報装置を無料でお貸しする事業も始めます。昨年完成した黒埼荘の特殊浴槽を利用しての入浴サービスも本年度から本格的に始めます。児童遊園の整備も行います。地域福祉在宅福祉事業で、ボランティアの育成、地域福祉組織のネットワークづくりを図ります。

・社会福祉負担補助金交付金

749万4千円

(やひこ学園、社会福祉協議会、遺族会、地域福祉・在宅福祉サービス、老人給食サービス、心配ごと相談等)

・広域養護老人ホーム負担金115万7千円

・長寿祝金 64万円

・老人憩の家管理費 1141万2千円

・国民年金事務費 2484万4千円

・障害福祉費 857万円

・児童措置費 5960万円

・黒鳥保育園委託措置費 2682万2千円

・児童遊園維持管理費 209万円

・福祉電話及びシルバーホン設置経費

90万6千円

人件費11億円

総務費12億2852万7千円

(前年度比+2491万5千円)

総務費は予算総額の31.4%を占めます。大半は人件費で総額11億3458万円です。町史編さん事業は、資料収集がおおむね終了し、来年度には第1巻を発行、昭和67年度に完了する計画です。交通安全関係では、各自治会に交通安全推進員を設置し、交通安全思想の啓蒙に努めます。

・特別職給料(町長、助役、収入役)

1810万8千円

・教育長給料 478万8千円

・職員給料(210人分) 5億8235万3千円

・職員手当など 3億2827万5千円

・共済費 2億105万6千円

・町長交際費 330万円

・町史編さん費 1065万円

・広報などの印刷費 568万7千円

・地方鉄道近代化設備整備費補助金

47万8千円

・交通安全対策費 1724万7千円

・自治会長委託料 745万7千円

・徴税費 2143万4千円

・戸籍住民基本台帳費 890万5千円

・選挙管理委員会費 108万4千円

・町長選挙費 145万円

・町議会議員補欠選挙費 143万8千円

・各種統計調査費 64万8千円

・監査委員会費 127万1千円

健康づくり
推進

衛生費 2億7460万8千円

(+902万1千円)

町民の健康づくりを積極的に推進します。総合検診、各種予防接種、健康教育、健康相談などを本年度も推進。健康展も開催します。成人病予防のため基本健診を受ける30歳以上の人への補助も引き続き実施します。自治会で行う防疫薬剤の購入費などへも引き続き助成します。

・国民健康保険特別会計繰出金 500万円

・高額療養費資金貸付基金繰出金

300万円

・予防費 1768万4千円

(各種検診、健康づくり事業など)

・母子衛生費 1170万9千円

・環境衛生費 789万2千円

・老人保健特別会計繰出金 5354万9千円

・ごみ収集委託料 4824万円

・新潟地区広域清掃事務組合負担金

1億1238万8千円

山田小増改築に
3億3千万円

教育費 5億3870万3千円

(+2億7137万6千円)

学校関係では山田小学校の校舎増改築を計画しているほか、各小中学校の施設設備を整備し、教育環境の向上に努めます。社会教育では、3年の指定が解けた生涯教育を今後も引き続き取り組みます。文化財保護では、史料館の展示室(木造二階建)を整備します。庁舎予定地を整備し、高齢者スポーツの場・子供の遊び場となる多目的広場とする計画のほか、町営野球場を一部改修し、スポーツ振興を図ります。

・教育委員会費	1574万2千円
(私学補助金	150万円)
黒崎高校振興会補助金	125万円)
奨学生貸付金	120万円)
・小学校費	4億152万5千円
(山田小学校校舎増改築工事費	3億2941万2千円)
・中学校費	2626万円
(光熱費、備品購入など)	
・社会教育総務費	688万円
各種委員の報酬、各種学級講座講師謝礼、各種団体への補助金など	
・公民館費	1544万円
・文化財保護費	1564万4千円
(史料館展示室建築工事費	1300万円)
・青少年問題対策費	160万6千円
・図書館費	802万1千円
・社会体育費	2294万2千円
(体育館、野球場等の維持管理など)	
・学校給食費	2010万3千円

商工費 1億8955万4千円

(+44万5千円)

産業育成資金、商工業近代化資金の貸付融資わくの拡大を図ります。持家住宅建設資金貸付制度も引き続き行います。また、商店街の活性化対策を図るため、広域商業診断実施計画を県、商工会との共催で立てます。観光開発では、県観光物産センターが試験場跡地に建設を予定されており、町おこしの重要な課題であることから、研修を行い、町の開発計画と併せて地域開発に取り組んでいきます。

・黒埼町商工会補助金	700万円
・県観光協会負担金	9万8千円
・広域商業診断費負担金	40万円
・産業育成資金貸付金	8000万円
・産業育成資金県貸付金元利返還金	4099万6千円
・商工業近代化資金貸付金	3000万円
・商工業近代化資金利子補給金	360万円
・持家住宅建設資金貸付金	2250万円

消防費 3701万3千円

(+459万3千円)

・消防施設の維持管理など	963万5千円
・消防団員報酬	494万7千円
・消防施設費	706万8千円



消防団の活動拠点



増改築される山田小学校



総合検診



町民会